

組合の楽しい便り投稿歓迎します。

ラベルニュース

東京都ラベル印刷協同組合
〒111-0051 東京都台東区蔵前 4-16-4

No453

令和5年7月暑中号

編集:広報・情報システム委員会

TEL(3866)4561 FAX(5821)6443

4年ぶりの組合研修旅行を開催

損害保険の仕組みについてセミナー
ラベル会も第120回記念大会を

2023/06/03 14:05



2023/06/03 15:52

恒例の組合研修旅行は、時より、あいおいニッセイ六月三日(土)、四日(日)に同和保険代理店の浅野保険四年ぶりに鬼怒川温泉の鬼怒川パークホテルズに於いて開催されました。

前日からの台風二号による記録的な大雨で、当日朝まで開催が心配されましたが、午前十時半の東武浅草駅集合には全員が集まり東武スペーシアに乗りし一路鬼怒川温泉駅に無事到着しました。

ホテルに到着後午後二時

あるが、保険料の安さだけで判断せず、ロードサービスやサービスタワーの数で判断してほしい。事故に遭った時に後悔しないように、よく比較検討してほしい」と説明した。

また「最近では保険ドラレコという新たなサービスもあるのですが、事故に遭った際に自動的に保険会社に画像が送信され、事故受け付け、安否確認やレッカー、救急車、レンタカーの手配も同時に行ってくれるため、最近多いとおり運転の事故にも迅速に対応できる」と加入を勧めました。

研修会終了後は、それぞれ各部屋に入り、鬼怒川温泉の湯で四年ぶりの裸の付き合いとなり、これまでの疲れをいやすことができました。

午後六時から宴会場に移り、初めに北島理事長が「四年ぶりの開催となりましたが、今日と明日はゆっくりとこれまでの疲れをいやしていただき、明日への糧としていただきたいと思えます」と挨拶し、乾杯の音頭に指名された日本ウエストの長田和志氏が「私は十七年ぶりに参加させていただきましたが、前回はRPFの説明をさせていただけでしたが、今ではこんな大きな事業になるうとは思っていませんでしたので感慨深いものがあります」と語り、全員で乾杯しました。

この後は無礼講となりコンパニオンの進め上手もあってボトルが次々と空になり、追加、追加で監事も青過ぎに恩田製作所の恩田博社長が中締めを行いお開きとなりました。

ラベル会第一二〇回記念大会に参加して
天気と同伴者に恵まれ優勝できました
マルウ接着 妻鳥洋一

コロナ禍を経て4年ぶりに開催された組合研修旅行に参加させていただきありがとうございます。私自身久しぶりの温泉旅行でもありとても楽しい旅行でした。前日までの台風の影響も心配されましたが無事に出発することもできて、ホテルでの研修会にて損害保険の貴重なお話を聞き、またその後の懇親会でも久しぶりににぎやかな時間を過ごさせていただきました。

翌日は杉の郷カントリ倶楽部にて一二〇回目を迎えたラベル会ゴルフコンペでしたが台風一過のさわやかな天気の中で行われました。コースは広く、アップダウンの少ないフラットなコースですが、歴史ある大きくそびえる木々がコースをセパレートしており林の中に入ると大変だなどという印象を持ってスタートしました。

当日の私の調子はいつになく好調で普段は右へ、左へと飛んでいくテイリーショットがまっすぐに飛んでいつてくれたおかげで、大きなトラブルもなくホールを進めることが出来ました。それにも増して好調だったのがパターンでした。グリーンに乗ると八回も一パットで入ってくれました。特に最終ホールでは十五mはあったと思われるロングパットが決まった瞬間は忘れられません。登りのフックラインでまさか入るとが思った瞬間、同伴いただいたサンワコーケン高橋社長、昭和レーベル大沢常務の驚いた顔、何より打った私が一番驚きました。そんな奇跡もあり一二〇回目の記念大会で優勝できたのは非常に光栄に思います。今回お世話いただいた皆様に感謝を申し上げるのとともに、非常に楽しい研修旅行、ゴルフに参加させていただきありがとうございました。

技術研修会主催の見学会
大阪のミラクル工業
と伊ワサキの2社を
特殊加工と印刷方式の違い



ご当地事情や事業承継問題、技術向上に関するお話などフリートークで非常に有意義な時間を過ごせました。組合各委員会では勉強会や工場見学会などを随時企画しております。もし興味のある勉強会や見たい工場などありましたら是非ご一報ください。

六月度理事会議事録

■日時 令和五年六月十日(水) 午後六時

■場所 組合会議室

■出席者 北島憲高

本間敏道 大澤雅純 平山

愛二郎 保坂知彦 前田智

信 清宮和夫(参与)

■欠席者 藤井雅一

■議事録作成者 本間

敏道

【議題】

① 組合研修旅行報告について

本間専務理事より六月三日、四日開催の組合研修旅行について報告があり、

四年ぶりの開催だったが、心配した天気も影響されずセミナーと翌日の第一二〇回ラベル大会も行われ好評だったと報告された。

② 組合員名簿作成について

本間専務理事より二年ごとの組合員名簿を現在作成中であると報告があり、

広告も何とか前回並みに集まったが、次回は作成しないと報告があった。

③ 今後の組合運営について

本間専務理事より緊急提言が事前に配布され、それに基づいて今後の組合運営について報告された。これまでのような事務局主導の組合運営では組合員減少に歯止めがかからず、支部会や委員会活動を本来の姿に戻さなければ最悪の事態になると指摘があった。組合の原点は「一社ではできないことを数の力で」という相互扶助であるが、

現状は事務局におんぶに抱っこという形が恒常化しており、本来の組合の姿からはいびつな形になってしまっている。

④ 委員会構成について

四年前の北島理事長就任の際に事務局主導からの脱却をうたい文句にしていたが、全く進展が見られなかった。ここで新役員が誕生して三期目になったのを機に、もう一度本来の組合のあるべき姿に戻していかなくては組合の未来はないと訴えた。

⑤ G P 認定制度について

清宮教育経営委員長より「G P 認定制度」について再度説明があり、今後さらに取得の必要性が高まってくることは間違いないので、組合として取得の支援を今後もしていきたいと報告があり、チラシを作成して次回のラベルニュース送付の際に同封することが報告された。ラベルコンテストについても先日オンラインで審査の方法についての勉強会があったことが報告された。

終了 午後7時20分

④ 委員会構成について

北島理事長より本間専務理事の提言を踏まえて、委員会構成も再編成したいと提案があり、七月中に第

一回目の委員会を開催し今後の事業について検討してほしいと要請があった。また、今後の大まかな日程についても検討が加えられ支部会、ボーリング大会、年次大会、新年会、ミニ機材展についても今後委員会で検討してもらいたいと報告があった。

田八重子 渡部信博 清水
佳則 岡崎敦彦

■ 福利厚生委員会 委員

大澤雅純 委員・保

坂信彦 日野秀子 本藤

誠

■ 情報広報システム化

委員会 委員長・本間敏道

飯村 健 藤井崇徳 竹島

圭一

■ 事業委員会 委員

長・平山愛二郎 委員・伊

藤孝明 西村公英

■ 技術環境対策委員会

委員長・北島憲高 委員・

川野豊久 高橋邦浩 川端

信夫 森田 賢

(株)SHITARAに

社名変更 設楽印刷機材

設楽印刷機材(株)(設楽誠

一社長)は、六月二十六日

付で社名変更いたしました。

新社名は「株式会社SHI

TARA」で、印刷業界に

携わるユーザーへのソリ

ューションを提供し続ける

会社でありたいという思い

は基より、今後も業務内容

の多様化を図り、更なる発

展を目指すとしています。

「微生物の存在に敬意を払う事大事」

(有)TOOV 篠田 ちる

終章 二十一世紀の健康

先進国で達成された長寿だけが健康の指標ではなくなつた。寿命が延びても心身の不具合に寄つて生活の質が妨げられたまま生きているのでは健康と言えない。

生活の質が低下している人が大勢いる。二十一世紀病は人種に関わりなく新生児にも高齢者にも男も女も発症する。女性の方が影響されやすく、特に自己免疫疾患になりやすい。

単に高齢だから心臓が硬くなつたり細胞が無秩序に増えたり欠陥が破壊されたりするわけではない。心臓病、癌、脳卒中は高齢者の病気というより炎症である。高齢になつて発症するのはダメージが長年にわたつて地奇跡された結果かもしれない、もしそうならダメージを蓄積させず老いることも可能だろう。

ヒトゲノムの解説が生物学の新時代の到来を告げたように、マイクロバイオームの存在に気付いたことは、アレルギーには抗ヒスタミン剤、糖尿病にはインスリン、心臓病にはスタチン、心の病気には抗うつ剤という総合的に治すことを目指さず、個別に長期的に対処する方法ではなくマイクロバイオームが傍観者ではなく人体運営の直接的な参加者だということ、

抗生物質の使い過ぎ、食物繊維摂取不足、赤ん坊のマイクロバイオームの植え付け方と育て方が変わってしまったこと。この三点

社会として個人として同姿勢を変えていけばいいのか。①社会としての姿勢を変えること

抗生物質の仕様を減らす。微生物の仕様が減らす。マイクロナイターを無差別攻撃して患者個人に危害を与えるな。抗がん剤は

危害より利益が上回るときのみつかう。他に選択肢がない場合に生じる影響をできるだけ小さくする。有益な微生物を病原体との戦い

にうまく利用すること。患者の反応がまちまちなのは遺伝子の違いではなく腸内細菌の組成比の違いであること。食物繊維をもつと食

べるべきという意見に反対する専門家は少ない。イギリスでは「果物と野菜を一日すくなくとも五点食べる」運動。オーストラリアでは「毎日二点の果物と五点の野菜を」と促している。食物繊維よりビタミン、ミネラルに焦点が当てられるのは残念だ。

②個人としての姿勢を考

える。果物はジュースにしたりブレンドしたりすると食物繊維が減る。果物はヒト

の酵素で分解されて小腸で吸収されるため結果的にカロリーが多くなる。

植物性の食品を食べて有益な微生物の組成比を増やすこと、出産方式・授乳方法について考えて選択する。「バイ菌」に対して神経質にならない。抗菌入りスプレーやティッシュを使用することはむしろ有害かもしれない。

遺伝子は選べないが微生物は選ぶことができる。「生まれか育ちか」生まれは特定の状態になりやすいか否かを決めるだけ。実際は生活様式、食事、危険要素の遭遇など環境(育ち)で決まる。

最善の遺伝子を受け継がせ、最良の環境を与える。親が子にしてやれる両方の要素がマイクロバイオームにある。数百万年の間私たちとともに旅してきた微生物の存在に敬意を払うこと、これこそが私たちの真の姿を理解し、ひいては百パーセントのヒトになるための一歩である。

■白内障とは

白内障とは目の中の水晶体が徐々に濁ってくることで、見えにくくなる病気です。水晶体はカメラのレンズにあたる組織で、外から入ってきた光を屈折させて網膜にピントを合わせたり、網膜に像を映す働きをします。水晶体は主にタン

No177 健康がいちばん!

「白内障」は加齢に伴い発症

近年パソコンの普及で若年型も

影響が出てくるようになります。

■六〇歳代では七割が

一般的に白内障は「加齢」に伴って発症することが多い病気です。早い方で四〇歳を過ぎた頃から発症し、六〇歳代では七〇・八〇%、八〇代以上では、ほぼ一〇〇%の方に白内障が認められます。白内障はよく「老眼」と混同されます。白内障の初期と発症する時期が重なるため、光がまぶしく色の区別がつきにくいといった白内障の代表的な症状を自覚しても老眼の症状と勘違いする人もいます。

■白内障は進行する

眼の病気は自覚症状が少なく、何らかの異常に気付いた時には早めの眼科受診をお勧めいたします。白内障は、進行する病気です。進行すると手術の難易度が

パク質と水でできています。タンパク質は、加齢や長年にわたる紫外線曝露などの酸化ストレスを受けてだんだんと変性し白く濁ります。通常は透明な組織ですが、白内障になると白く濁ってしまうため、徐々に視力に

に近視、遠視、乱視、老眼

のすべてを治療できる多焦点眼内レンズも登場していますので、早い段階で手術を検討する方も多くなっています。

■白内障は四つのタイプ

白内障は水晶体の濁り方によって次の四つのタイプがあります。進行するに従ってそれぞれ混じりあうことも多く、最終的にはハイリスクな白内障への危険性が伴っていきますので定期的な眼科受診をおすすめいたします。

①皮質白内障

「皮質白内障」は水晶体のまわりの部分（皮質）から、くさび形の濁りが生じます。

②核白内障

「核白内障」は水晶体の中央の核の部分からだんだん硬くなり、茶色く濁ってきます。

③後囊下白内障

「後囊下白内障」は水晶体の光の通り道である中央部にすりガラス状の濁りが生じます。

④前囊下白内障

「前囊下白内障」は水晶体を包む前囊の真ん中にヒト

デ型の濁りが生じます。パソコンを使う仕事などの影響で、三〇代から四〇代の若い人達に増えています。

■手術は日帰り

一般的には、進化した白内障には手術が行われます。白内障の手術は、方法、所要時間、患者の負担など、さまざまな点において飛躍的な進歩を遂げ、現在では短時間の手術でその日のうちに帰宅できるほどになっています。手術では、水晶体内部の濁りを取り除き、その代わりにアクリル製の眼内レンズという人工物を挿入します。

レンズには一か所のみ焦点を合わせる単焦点レンズ（保険適用）と、二か所以上焦点を合わせる多焦点レンズ（保険外）があります。費用は単焦点レンズが片方で五万円、両目で十万、多焦点レンズは一般的に百万円前後と言われていますが、金銭的に余裕のある方は多焦点レンズを選択してはどうですか。

【参考資料】

なるほど・や・新製品

ストレスフリーを達成。

太陽機械製作所(東京都大田区羽田空港一の八の二) 〇三・六八二五・六一二七)は、昨年のIGASに夢

の次世代ミニマム凸版輪転ラベル印刷機「TCR-200Tutti」(トウッテイ)

と凸版輪転機の最終形

「TUR250Tutti+」

を発売した。各方面から注目されつつある。

夢の凸版輪転ラベル印刷機 2機種を
「TCR200Tutti」「TUR250Tutti+」
ラインアップを充実し顧客のニーズを

「220」の特徴としては、■ロンパクト設全長3,800ミリ(4色機)、通紙メーター数約7m(巻出し)



(巻取り迄) ■サーボモーター駆動による見当精度の向上(4色機・7軸制御)

■効率的なローラー配置による素早いインキ出し

■版胴、付けローラーのベアラ

■コンタクトによるアジャストレス

■異なる版胴径でもパスラインの変わらないス

■イングフレーム構造

■標準装備のイニシャルポ

ジションコントロール(初期位置制御)でロスを削減

■基本仕様

最大紙巾・200ミリ最大印刷巾・190ミリ

最大巻取径・φ500ミリ

最大カス径・φ500ミリ

印刷版胴円周・142.875ミリ

〜206.375ミリ(#45)〜

〜342.9ミリ(#55〜108)

最高ライン速・80m/min.

■オプション装置
糊面/裏面印刷装置
裏スリッター装置
静止画像装置

また、凸版輪転機の最終形として発売した

「TUR250Tutti+」は、

数値制御によるスキルレスやロス紙削減はもちろん、セット替えの簡素化による

基本仕様最大紙巾・250

ミリ 最大印刷巾・240

ミリ 最大給紙径・φ800

ミリ 最大巻取径・φ800

ミリ 最大カス巻径・φ800

ミリ 最大ラミネート径・φ380

ミリ 印刷版胴円周・177.8

ミリ(〜381ミリ(#56〜120))

ピッチ・3.175

ミリ(1/8")

ロータリーダイカット

詳細はホームページ

taiyō-kikai.co.jp



